

平成 29 年度 第 3 回 東区自治協議会 会議概要

開催日時	平成 29 年 6 月 29 日 (木) 午後 2 時から午後 3 時 15 分
会場	東区プラザ ホール
出席者	<p>【委員】</p> <p>國兼委員、作左部委員、和田委員、渡辺（順）委員、桑原委員、長谷川委員、吉田委員、佐藤（清）委員、三島委員、菊谷委員、月岡委員、野村委員、安藤委員、大澤委員、小野委員、川上委員、木村委員、後藤委員、田村委員、佐藤（恵）委員、田中委員、近委員、渡辺（芳）委員、大江委員、高橋委員、中川委員、山田（久）委員、井上委員、山田（修）委員</p> <p>以上 29 名</p> <p>【事務局】</p> <p>（東区）齋藤区長、夏目副区長（総務課長）、清水地域課長、古寺区民生活課長、渡辺健康福祉課長、萩野保護課長、玉木建設課長、青木石山出張所長、鷺尾中地区公民館長、浦澤東消防署長、村山地域課長補佐、吉原教育支援センター所長、地域課職員</p> <p>（本庁）齋藤文化創造推進課水と土の文化推進室係長、加藤市民協働課長補佐</p>
1. 開会	<p>（区長）</p> <p>皆さま、こんにちは。本日は、大変お忙しい中、第 3 回目の東区自治協議会にご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>はじめに、委員の皆さまに、区長としてお詫びを申し上げたいと思います。</p> <p>この度、東区役所建設課の職員が、公金を着服するという事件が起こってしまいました。既に、被害額の全額は本人から弁済され、本人は懲戒免職処分となっております。今後、二度とこのような不名誉な事件が発生しないように、東区役所はもちろん、市を挙げて、再発防止対策に取り組んでいるところでございます。この度は、大変申し訳ございませんでした。</p> <p>さて、5 月 11 日の山の下地区を皮切りに、6 月 18 日の木戸地区まで、12 コミ協の皆さまのご協力をいただきまして、12 回の区政懇談会を無事終了することができました。今年度は、370 人のご参加をいただき、前年度よりも若干参加者が増えております。</p> <p>今年度は、市を挙げて、健康寿命の延伸に取り組んでおります。今まで、区政懇談会におきましても、このようなテーマで区民の皆さまと直接お話し合いをすることは、なかなか無かったのですけれども、中学校区別の健康データ等もお示しをしながら、区民の皆さまと懇談をさせていただいたところでございます。中学校区別のデータを示したということで、皆さまの関心は高かったのではないかなと思います。</p> <p>ただ、東区の健康課題でございます健診受診率の向上と、脳血管疾患につながる生活習慣病の予防対策ということで、運動・食生活の改善等に取り組んでいく訳でございますけれども、この点につきましては、今までも色々とやってきて、なかなか成果を出すのが難しい、大変大きな課題となっております。区役所はもちろん、区民の皆さまのご協力をいただき、そして、健康づくりについて、色々と活動して下さっている組織の皆さま、企業や商店街、さまざまな皆さまのお力をお借りしながら、何とかこの大きな課題の解決に取り組んでいきたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。</p>

7月に入りますと、9日に恒例の区民ウォーク。こちらは200人募集したところ、午前中で、あっという間に満員という盛況ぶりでした。

そして、17日は「区民ふれあい祭」ということで、12コミ協さんを中心とした実行委員会の皆さまが準備を進めてくださっております。東区の最大のイベントでございますので、皆さまと一緒に区役所も精いっぱい頑張ります。区民の皆さまに、ぜひ元気になっていただきたいと思っております。

そして、7月には、2つ自治協議会の皆さまの研修会も入っております。今日は、そちらの議題もございますので、最後まで、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(地域課長補佐)

議事に入ります前に、事務局から報告及び確認をさせていただきます。

今日は、江川委員から欠席のご連絡をいただいておりますが、出席者数が「新潟市区自治協議会条例第9条第2項」の規定に達しておりますので、本会議は成立しております。

なお、今日は、佐藤誠市議会議員、五十嵐完二市議会議員が傍聴にお越しになっておりますので、ご報告いたします。

当会議の議事内容は、市のホームページ上にて公開することとなり、「会議概要」作成のため、録音をさせていただきます。また、報道関係者から取材の申し出があった場合は、許可してよろしいでしょうか。

(異議なし)

ここで、資料の確認をいたします。本日の資料は、「次第」「資料1」から「資料6」、「参考資料」です。そのうち、本日お配りした資料は、「次第」「資料3 平成29年度東区自治協議会委員研修会について」「資料4 平成29年新潟市区自治協議会委員研修会について」「資料5-3 水と土の芸術祭2018基本計画 市民意見募集のお願い」「参考資料 平成29年度新潟市中学校体育大会の結果」「参考資料 第11回東区区民ふれあい祭のご案内(チラシ)」「参考資料 東区工場夜景バスツアーのご案内(チラシ)」「参考資料 東区市民劇団座・未来 音楽劇(チラシ)」「参考資料 救急車の適正利用について(チラシ)」また、別途配付依頼のありました「水と土の芸術祭2018」(チラシ)につきまして、委員の皆さまにのみ配付いたしましたので、ご確認ください。

資料に不足がございましたらお知らせください。

それでは、後藤会長から議事進行をお願いいたします。

(後藤会長)

皆さん、こんにちは。だいぶ暑くなってきましたけども、今日もよろしく願いいたします。

はじめに、自治協議会関連事項の(1)「各部会報告」です。各部会の会議概要録は事前にお送りしてあります。各部会長は、概要録に補足することなどがあれば、説明をお願いします。

それでは、市民協働部門の第1部会の概要録について、補足がありましたら、お願いいた

2. 自治協議会関連事項
(1) 各部会報告

します。

(長谷川委員)

それでは、6月9日に開催しました第1部会の報告をさせていただきます。

会議の開催概要については、ご覧のとおりでございます。

審議内容についてですが、最初に、総務省の行政相談制度について、お話がありました。

次に、平成29年度区自治協議会提案事業、第1部会の「発災時の地域防災体制支援事業」でございます。これは、情報伝達訓練を各コミ協に参加依頼をした結果、4つのコミ協から参加要望がありました。山の下地区コミ協、桃山地区コミ協、下山地区コミ協、新潟市木戸地域コミ協ということでございます。今後のスケジュール等につきまして、意見交換をおこないまして、結果は記載のとおりでございます。

訓練を始める前に、準備としてのワークショップを7月末に実施し、その後、各訓練は、コミ協が準備を進めるというようにしたらどうかということでございます。それで、7月28日にワークショップをおこなうということが、決定しまして、準備が進行中でございます。

それから、見学いたしますと、客観的に見る事が出来るというようなことで、今回の訓練に参加されないコミ協の方々にも、声を掛ける予定でございます。

それから、平成29年度の東区自治協議会委員研修会。県立大学生とのワークショップでございますが、これの意見交換テーマについて検討をおこないました。その結果、第1部会としましては、「発災時、学生として『地域の中で』出来ることは何か?」というテーマに決定いたしました。

次回開催日は、7月7日(金)午前10時におこなうということになりました。

(後藤会長)

ただいまの報告に対して、ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

次に、福祉・教育・文化部門の第2部会の概要録について、補足がありましたらお願いします。

(佐藤(恵)委員)

6月12日に第2部会をおこないまして、内容は記載されているとおりです。

3の平成29年度区自治協議会提案事業についてですが、「小学生向け東区めぐりバスツアー」の日時が決定いたしましたので、お伝えいたします。平成29年8月21日(月)の午前9時から午後4時まで、訪問先は山の下閘門排水機場のあと、新潟空港で昼食を取りまして、航空自衛隊新潟分屯基地、北越紀州製紙株式会社を回ります。定員は、小学校4年生から6年生までの先着40名となりました。

裏面にいきまして、4の平成29年度東区自治協議会委員研修会ですけれど、第2部会としてのテーマは、「独居老人が社会と関わるために市民にできることは何か?」というテーマを決めさせていただきました。

次回開催日は、7月5日(水)午後2時からとなります。

(後藤会長)

ただいまの報告に対して、ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

次に、産業・環境部門の第3部会の概要録について、補足がありましたらお願いいたします。

(國兼委員)

議事録に書いてあるとおりでございますが、6月8日、午前10時から午後0時15分まで、色々な審議をさせていただきました。

内容としましては、最初に、総務省の行政相談制度について説明を受けました。

そして、2番目の「東区自治協議会提案事業について」でございますが、委員の皆さま方から、東区に、どのような特色があるのか勉強していただいて、発表していただきました。内容としましては、東区には魅力がこれだけあると、しかし、それが近いものとして感じられていないのではないかということで協議しました。

それを受けて、平成29年度東区自治協議会委員研修会の大学生とのワークショップのテーマについて、色々な意見を出し合い、「市内随一を誇る産業を東区の魅力として発信する内容と方法は？」というテーマを決めさせていただきました。

その後に事務局から、東区の公共交通の研究している概要について説明がありました。

次の開催は、7月14日、午前10時から区役所の会議室Aでおこないます。

(後藤会長)

ただいまの報告に対して、ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

次に、(2)広報紙編集部会報告です。中川部会長からご報告をお願いします。

(中川委員)

それでは、ご報告申し上げます。

第1回目の編集部会ですが、5月30日、区役所で開かれました。

審議内容ですが、最初の部会でしたので、部会長、副部会長の選出を互選によりおこない、部会長には私を、副部会長には桑原委員を選出いたしました。

平成29年度の発行計画ですが、例年どおり、年3回発行、時期については、記載のとおりでございます。規格、その他も、大きな変化はございません。

次号、第10号の編集については、次の部会で検討するということとしました。

資料の2-2をご覧ください。

第2回目の編集部会ですが、審議内容としては、第10号のレイアウト等について、皆さんでお話をさせていただきました。この内容については、1ページ目は、前回ここで撮らせていただきました集合写真を使って、広く紹介します。

そして、後藤会長と斎藤区長のあいさつ、9月1日に東警察署がこの区役所の向かいに開署になりますが、区民の念願だったということもありまして、そんなに深く突っ込むような、大きな記事ではありませんけれども、紹介をしましょうということです。

2ページ目については、各部会の取り組みについて紹介をしていただき、3ページ目は、この7月に県立大学の学生とのワークショップ、研修会がありますが、その内容について、

(2) 広報紙
編集部会報
告

各部長から一言ずつコメントをいただきたいと思っております。4ページ目は、コミュニティ協議会の活動紹介ということで、以前も掲載していたようですが、今回は、山の下コミ協、紫竹中央コミ協の活動を紹介させていただこうと思います。そして、どこが何というコミュニティ協議会なのかということが、あまり、区民の皆さんにお分かりいただけていないという実態がございます。それで、色分けされたコミュニティ協議会のマップを、コミ協の会長さんの名前とともに掲載したいということでございます。

あまり長い文章を入れると、なかなか取っ付きにくいということで、なるべく写真をメインに使って、簡単な説明をする程度にとどめたほうが、見やすいのではないかと、読んでくれるのではないかと、そのような構成にしたいと考えております。

次回の開催日ですが、8月2日に第3回目の会議をおこないます。

具体的に、各ページの記事のスペースなど、印刷屋さんにもおいでいただいて、我々の希望を申し上げて、出来ることを確認しながら、しっかりしたものを決めていきたいと思っております。とにかく、見やすいもの、とっつきやすいものということで、もちろん前のものを参考にしますし、大きな変更はないと思っておりますけれども、より読みやすいものにしていきたいと考えております。

(後藤会長)

ただいまの報告に対して、ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

(3) 平成
29 年度東
区自治協議
会委員研修
会について

次に、(3)「平成 29 年度東区自治協議会委員研修会について」です。こちらは、私から説明いたします。資料3をご覧ください。

開催概要ですが、日時は、7月13日(木)午後1時から3時30分まで。会場は、新潟県立大学です。

内容は、第1部が大学生とのワークショップ、第2部が県立大学の施設見学となります。

大学生とのワークショップのテーマですが、大きなテーマは、「若者が考える東区のまちづくり」です。各部長の報告にもありましたが、各部長で検討した小テーマについて、各部長から説明をお願いします。

では、第1部会の長谷川部会長、お願いします。

(長谷川部会長)

それでは、第1部会のテーマと内容について説明させていただきます。めぐりまして、2ページ目のAグループというところを見ていただきたいと思っております。

先ほどお話ししましたように、第1部会としては、「発災時、学生として『地域の中で』できることは何か?」というテーマにしております。2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震と大きな地震が続いており、また、近年、日本各地で大雨や台風に伴う冠水、浸水、土砂崩れも起こっており、いつ、新潟も災害に見舞われるか分かりません。それで、東区も自治会や町内会などでは、日ごろから防災や減災についての取り組みをおこなっていますが、問題点も抱えております。

もし、大きな災害が新潟市で起こった場合、学生として「地域の中で」何ができるのでしょうか。まず自分の身を守ることが第一ですが、そのあと、地域のためにどうことができるのでしょうかというようなことを、色々な話し合いをしたいと思っております。

そこで、参考としまして、こんなことが我々の問題となっておりますということで、以下に掲げております。

「防災や減災に取り組むにあたっての問題点」

- 人間関係が希薄化している
- 防災訓練の参加者が固定化し、年々高齢化していく
- マンション・アパート住民の防災訓練への参加者が少数
- 防災訓練に参加者が少なく、一家での参加も少ない
- 集合住宅の住民への働きかけが非常に困難である
- 非常備蓄防災倉庫が高台で、多くの備蓄ができない
- 一部自治会の防災に対する認識の違いの存在
- 災害（地震・津波等）の発生予測、避難情報の迅速な広報システムの確立
- トイレの準備
- 避難所における各担当者役務のマニュアル作成と実務訓練（人材の育成と確保）
- 住宅地のため、避難する高い建物や高い土地がない
- コミュニティ協議会に助成金がない

これまで、ずっと防災・減災をやってきて、このような問題点、課題が挙がっております。これらについて、若い人たちの意見を聞き、色々と情報交換したいということでやっていきたいと思っております。

（後藤会長）

それでは、第2部会の佐藤部会長、お願いいたします。

（佐藤（恵）委員）

第2部会のテーマは、「独居老人が社会と関わるために市民にできることは何か？」

新潟市の高齢化率は、平成29年3月現在で28.0%であり、過去に経験したことのない人口減少、少子・超高齢社会を迎えています。東区においても例外ではなく、中でも、一人暮らしの高齢者（独居老人）及び、高齢者のみの世帯の割合は、非常に高くなっています。

一人暮らしの高齢者、24.4%（およそ4人に1人）、高齢者のみの世帯26.8%（およそ4世帯に1世帯）、今後、ますますこうした高齢者の増加が予想される中、社会全体で高齢者を支えていくことが求められています。

独居老人が社会と関わり、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、周りにいる私たちに、一体何ができるのでしょうかということにつきまして、色々と話し合い、良い意見を取り入れていきたいと思っております。

参考資料といたしまして、「新潟市オープンデータ小学校区別高齢者人口・世帯数（平成29年3月31日現在）」の資料より抜粋しておりますので、見ていただきたいと思います。

（後藤会長）

では、第3部会の國兼部会長、お願いいたします。

（國兼部会長）

Cグループとしての小テーマでございますが、「市内随一を誇る産業を東区の魅力として発信する内容と方法は？」というテーマにさせていただきました。

新潟市の8区を比べたデータを見ましても、いかに東区に事業所がたくさんあるかが分かります。これを、これからを担う若い学生さんに、意見交換の中で、東区の魅力として知っていただきたい。そして、産業のまちであることを身近に感じてもらうために、どうすれば良いかを考えてもらいたい。

また、ものづくりに対する魅力の再確認と発信により、東区民が、区の特徴である産業を、地域の誇りとして身近に感じ、東区の活性化につなげていくためには、どうしていったらよいのかということ、第3部会の皆さまから、色々な意見を出していただいた中で、このテーマに絞りました。

そして、この統計表で、黒く塗ってあるところが、東区に優位性のあるものでございます。薄いところが2番目というところでございます。これだけ多くの企業がある訳ですので、今回の学生さんたちとの意見交換の中で、たくさんの学生さんに東区に残っていただき、あるいは、たくさんの方々が、また東区に集まってきていただけるよう、東区の魅力を発信していきたいということで、この小テーマを決めさせていただきました。

(後藤会長)

ありがとうございました。

もう一度、資料3の1ページ目にお戻りください。

当日のグループ分けですが、部会ごとの委員の参加人数に基づいて、班分けをしまして、各班のファシリテーターと記録担当についても、事務局と相談して割り振らせていただきました。

第1部会は、Aグループで3班の構成となります。第2部会は、Bグループで4班の構成となります。第3部会は、Cグループで5班の構成となります。

東区自治協議会委員と県立大学生とのワークショップは、今年で4回目となります。昨年度、ワークショップの振り返りの際に、委員から、「学生は、ワークショップ当日にテーマを知らされるため、本題に入るまでに時間が掛かる」というご意見がありましたので、今年度は、各小テーマを事前に学生に提示して、希望するテーマを選択してもらうことにしました。

A～Cグループのそれぞれの班に、大学生が13人程度入る予定です。

「その他」をご覧ください。集合時間は、午後0時40分となります。会場設営等、皆さんと協力して準備したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

集合場所は、新厚生棟「ぱれっと」という学生食堂の2階となります。現地集合でお願いいたします。

交通手段は、自家用車、又は公共交通機関をご利用ください。自家用車で来られる方は、大学正門を入ったところにある駐車場を20台分確保してあります。当日は、三角コーンが立ててありますので、それを動かして駐車してください。

また、ワークショップ終了後、大学職員の案内のもとで施設見学を行います。2グループに分かれる必要がありますので、資料2の表のとおり、ファシリテーターの方と記録の方で、それぞれ分かれて見学したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

<p>(4)新潟市区自治協議会委員研修会について</p>	<p>本日、「研修会の次第」を自治協委員のみに配布させていただいております。ワークショップの進め方のイメージ図、記録の方から作成していただく報告書の様式を添付いたしましたので、当日までにご一読いただき、ワークの参考としてください。また、当日参加する際にお持ちくださいますようお願いいたします。</p> <p>では、次に、(4)「平成 29 年度新潟市区自治協議会委員研修会について」です。事務局からご説明をお願いします。</p> <p>(事務局)</p> <p>「平成 29 年度新潟市区自治協議会委員研修会」の参加者と内容が確定しましたのでご報告いたします。資料 4 をご覧ください。</p> <p>開催日時は、平成 29 年 7 月 6 日(木)の午後 1 時 30 分～4 時 30 分です。</p> <p>会場は、新潟市黒崎市民会館となります。</p> <p>参加者は全区で 148 名の予定です。東区の委員については、裏面に掲載しましたのでご確認ください。</p> <p>研修内容ですが、「81 万市民総活躍のまちづくりについて」と題し、記載の 3 名の講師による講演会があります。</p> <p>その後、会場を移動して「区自治協議会の活性化について」、分科会形式の意見交換会をおこなっていただきます。各委員がどの班に所属しているかは、資料裏面に記載しましたのでご確認ください。</p> <p>当日、会場までは東区のマイクロバスで送迎いたします。バスの利用を申し込まれた方は、午後 0 時 30 分までに、東区役所西口に集合してください。午後 0 時 40 分に出発したいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>なお、当日、参加できなくなった場合は、事務局までご連絡をお願いいたします。</p> <p>本日、「平成 29 年度新潟市区自治協議会委員研修会のしおり」を自治協委員の皆さまのみに配付しております。参加される方は、ご一読していただき、当日参加する際にお持ちくださいますようお願いいたします。</p> <p>この研修会は、他の区の委員の方々と意見交換をする貴重な機会となりますので、積極的にご発言していただきたいと思っております。</p>
<p>3. 報告事項 (1)「水と土の芸術祭 2018 基本計画」に対する市民意見の募集について</p>	<p>(後藤会長)</p> <p>ただいまの説明に対して、ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>次に、3「報告事項」に移ります。</p> <p>最初に、(1)『「水と土の芸術祭 2018 基本計画」に対する市民意見の募集について』、齋藤文化創造推進課水と土の文化推進室係長よりご報告していただきます。</p> <p>(齋藤文化創造推進課水と土の文化推進室係長)</p> <p>本日は、貴重なお時間をいただきまして、大変ありがとうございます。</p> <p>それでは、これより、「水と土の芸術祭 2018 基本計画」に対する市民意見の募集について、ご説明させていただきます。</p> <p>では、お手元の資料 5-1 をご覧ください。次の、5-2 の基本計画につきましては、今</p>

回の芸術祭の方針を示したものでございますが、本日は、5-1の概要版に沿って、ご説明をさせていただきたいと思っております。

本芸術祭につきましては、政令市新潟の一体感の醸成と、交流人口の拡大につなげようと、過去3回に亘って開催してきたものでございます。現在、4回目の開催に向けて準備中でございます。

まず、1の「基本理念」につきましては、記載してあるとおりでございますが、これにつきましては、阿賀野川、信濃川という2つの大河が運んでくる水と土から生まれた新潟市の豊かな暮らし、文化を掘り起こして、先人たちが不屈の精神で創造性を発揮して、水との闘いの中で作り上げてきた豊かな新潟の成り立ちを、今を生きる私たちが見詰め直して、未来を考えるきっかけにしたいという思いが込められた理念でございます。

2番目の「目的」につきましては、ご覧のとおりになりますけれども、「水と土の文化創造都市の推進」をはじめ、東京オリンピック・パラリンピックに向けて、新潟市を全世界にアピールするまたとない機会であります。また、来年は、新潟開港150周年の記念すべき年でもございますので、港町としての魅力向上につなげていきたいと思っております。

続きまして、3番目の「主催」になりますけれども、新潟市をはじめ、市内の自治協議会、経済団体など計62団体で構成する実行委員会が主催してございます。実行委員長以下の体制につきましては、記載のとおりでございます。

続きまして、4番目の会期でございますが、来年の7月14日から10月8日（月・祝）までの、計87日間で開催をいたしてまいります。

「会場」につきましては、次の5番目、メイン会場を、万代島旧水揚場跡地、かまぼこ型の屋根をした特徴のある、大きなもので、オオカマと呼ばれているものなのですが、そちらをメイン会場といたしまして、サテライト会場は、旧二葉中学校としてございます。

その他、市民プロジェクトやアートプロジェクトの一部につきましては、市内全域で展開してまいりたいと考えてございます。

続きまして、6番目の「事業」をご覧ください。5本の柱で構成しております。一つ目につきましては、市民プロジェクトです。これは、市民自らが企画運営するプロジェクトを支援していくものでございまして、全国的にも珍しく、ほかの芸術祭にはない、新潟市の強みである取り組みでございます。ぜひ多くの市民の皆さまからご応募いただいて、ご参加いただければと思っております。

また、今回につきましては、作家の方が地域に一時的に滞在して、一緒に地域の課題の解決につなげる独自の取り組みに対する支援も予定しております。各区で実施される様々なプロジェクトの連携の核となる地域の拠点づくりにつなげていきたいと考えております。

二つ目の「こどもプロジェクト」ですが、これは、次世代を担う子どもたちの創造性を育むことを目的に、体験型のアート作品やワークショップなどを通じて、子どもたちが芸術の面白さ、楽しさ、素晴らしさを体験するような機会を提供してまいりたいと思っております。

今回につきましては、多くの子どもたちが参加できるよう、各区への広がりも検討しております。各区で参加できるような仕組みというものを考えております。

三つ目につきましては、「アートプロジェクト」になります。制作から展示まで、ボランティア、市民の皆さまから関わっていただきながら、さまざまな方から楽しんでいただいて、多くの方が新潟にお越しただけのような作品を展示してまいりたいと考えております。

四つ目は、「シンポジウム」になります。水と土にふさわしい、新潟らしい魅力の発信と、地域の活性化につながるものとなるシンポジウムを開催してまいりたいと思います。

五つ目につきましては、『にいがた JIMAN』という名称ですけれども、食や農をはじめ、踊りや地域の伝統芸能など、新潟の魅力を広く発信できるようなものにしていきたいと考えてございます。

最後に、7番目の「予算」でございますが、「水と土の芸術祭 2018」の全体予算といたしましては、2億7,000万円を予定しております。

続きまして、市民意見募集についてご説明させていただきます。資料5-3をご覧ください。

今ほど説明いたしました基本計画に対する市民意見を8月4日（金）まで募集しております。いただいたご意見は、今後は具体的な実施計画というものを立てていくのですけれども、こちらの実施計画策定の参考にさせていただきたいと思います。ご意見につきましては、市のホームページ等で公表していきますので、ご覧いただきたいと思います。

それでは、1枚お開きいただきまして、中面のほどをご覧いただきたいと思います。氏名・住所等の必須項目をご記入いただきまして、基本計画に対するご意見などをご記入いただければと思います。

また、右側のページにつきましては、簡単なアンケートを付けてございますので、併せてご協力いただければと思います。

また、コミュニティ協議会や各団体などからも広くご意見をいただきたいと思いますので、本日ご説明させていただいた資料と同じものを、茶色の封筒に入れてございますので、ご確認いただければと思います。コミュニティ協議会や各団体にお戻りになりましたら、皆さまにご周知いただければ幸いです。

なお、基本計画や意見書については、表面に記載してございますので、この用紙等につきましては、各区の地域課などのほか、出張所等でも配布してございますので、多くの方からご協力をいただきたいと思います。

（後藤会長）

ただいまの報告に対して、ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

（田中委員）

質問ではないのですが、平成30年の8月24日、25日に日本PTAの全国研究大会が、新潟でおこなわれます。25日に、長岡をメイン会場に執り行われますが、前日の24日に、分科会が新潟市で2つ開催されます。ANAクラウンホテル新潟と朱鷺メッセで、どちらも千人規模の開催となります。この大会の全体としての規模は8,000人でございます。そんな中で、非常にタイミングよく、水と土の芸術祭が開催されるということは、大変ありがたいと存じております。もし何かパンフレット等あれば、それぞれ、1,000人ずつ収容で、ほとんど県外の方がいらっしゃると思いますので、よい発信の機会になると思いますので、ご協力させていただければと思います。

（後藤会長）

その他に、質問はございますでしょうか。

(山田(修)委員)

今ほどの説明の中で、市民はホームページ等の資料を見て、意見を挙げるという形になっておりますが、ホームページの基本資料の中に、今日いただいた基本計画の資料が入っているのでしょうか。

(齋藤文化創造推進課水と土の文化推進室係長)

そのとおりでございます。ホームページに、お配りしました、5-2の資料が閲覧できるようになっておりますし、意見募集の用紙につきましても、ダウンロードできるようになってございます。

(山田(修)委員)

二つ、教えていただきたいのですけれど、一つは、これまでの開催で、こういった目的で実施して、どのような成果があって、どういう課題が残ったかというあたりが、このホームページ等の資料を見て、知ることができるかということです。

もう一点については、目的の1つに、新潟市への観光客の誘致という部分もあると思うのですが、これまでの実施をとおしての数値的なデータ、そういったものがあれば、ここで簡単に教えていただければと思います。

(齋藤文化創造推進課水と土の文化推進室係長)

1番目の、過去の目的に対して成果を知ることができるかということであると、この基本計画には、そこまでは書いてございませんので、知ることはできないのですが、過去のアンケート調査をしたものがございまして、ホームページ等にアンケート調査の結果として公表してございますので、こういったところから読み取れるのかなと思っております。

次に、観光としての市への誘客といった効果があるのかということでございますが、過去3回で言いますと、1回目の2009年に実施された芸術祭ですと、来場者数が約55万人、経済波及効果として12億5,000万円。第2回目ですと、来場者数が約72万人、経済波及効果といたしましては、19億5,000万円。2年前の2015年におこないました第3回目につきましては、来場者数は約77万人、経済波及効果は22億8,000万円という試算をしておりますので、年々、来場者は増えておまして、経済に与える波及効果も、相応の成果を上げているかと思っております。

(山田(修)委員)

実施のたびに経済効果も伸びているということが分かりました。

最後に、この資料の基本計画の中にもあったのですが、いかにPRしていくかということがポイントになるのかなと思うのですが、新潟市以外、県外なども含めて、特に空港のある新潟市ですので、対外国に対する観光客の誘致ということも視野に入っているかと思うのですが、そういうPRの方法等で、工夫を考えていることとか、取り組み等があれば、教えていただきたいと思っております。

(齋藤文化創造推進課水と土の文化推進室係長)

PR方法につきましては、広報戦略を策定しておりまして、戦略的に広報を実施していくために、外部の専門家を使って、戦略的にPRしていきたいと考えております。

これは全国的に発信をしていくために、ひいては、全世界に発信していくためには、外部委託をして実施していくことが、一番効果的ではないかと考えております。

(山田(修)委員)

具体的には、ホームページに掲載するというだけでなく、他のことも含めてということですね。

(齋藤文化創造推進課水と土の文化推進室係長)

ホームページだけでなく、SNSと言われる、情報発信するようなツールですとか、あとは、東京オリンピックに向けて、東京都内にもPRをし、首都圏の方からも来ていただくようなPRをするために、専門的な業者の方からご意見をいただきながら、ノウハウを使ってPRしていくということでございます。

(後藤会長)

その他に、ご質問はございますでしょうか。

(田中委員)

全3回の水と土の芸術祭で、今でも残っている芸術品はあるのでしょうか。

(齋藤文化創造推進課水と土の文化推進室係長)

今でも残っている作品というのが、市内に、全部で9カ所ありまして、東区ですと、栗ノ木排水機場の跡地なのですが、そこが作品名で言うと、「栗ノ木排水機場は現代農業土木の原点となった」という、屋外展示しているものがございまして、あとは、中央区に4カ所ございますし、秋葉区に2カ所、西蒲区に2カ所という形で、全9カ所、設置して残っておるものがございます。

(田中委員)

水と土の芸術祭の話をする、例えば前回、二葉中学校のグラウンドに池があったのですが、終わったら元に戻しますということで、もう少し残したらいいのにねという意見が多かったので、ちょっと質問させていただきました。

そして、こどもプロジェクトで、各区への広がりを検討ということなので、たくさんの子どもに参加してもらったものが残ればいいなと思っております。

(後藤会長)

その他に、質問ございますでしょうか。

(2)新潟市

では、次に、(2)「新潟市区自治協議会のあり方検討委員会の設置について」、加藤市民

<p>区自治協議会のあり方検討委員会の設置について</p>	<p>協働課長補佐よりご報告させていただきます。</p> <p>(加藤市民協働課長補佐)</p> <p>本年度、当方で進める予定であります、「区自治協議会のあり方の検討及び、その検討に向けてのあり方検討委員会の設置」につきまして、ご説明させていただきたいと思っております。</p> <p>皆さんに事前に送付させていただきました資料番号6番の「新潟市区自治協議会のあり方検討委員会の設置について」、こちらをご覧ください。</p> <p>はじめに、左上(1)「設置趣旨」でございます。区自治協議会が、この4月で設置から丸10年が経過いたしました。</p> <p>自治協につきましては、市民・区民の皆さまと、市役所・区役所との協働の推進、地域課題の解決に向けた熱心な議論、協議をいただいております。</p> <p>また、近年につきましては、区自治協提案事業の企画、実施に、皆さまから主体的に取り組んでいただいておりますとともに、区自治協議会の広報紙の発行など、区自治協議会の設置当初にはなかった新たな役割についても担っていただいているところで、本市の住民自治の推進に大きな役割を果たしていただいていると認識しております。</p> <p>しかし、一方で、今ほど申し上げましたような、役割の多様化によりまして、区自治協議会の役割そのものについて、関係者の皆さま、例えば、区役所と委員の皆さまの間ですとか、あるいは、委員の皆さま同士の間でも、認識の違いがあったり、温度差がある。</p> <p>また、先ほど申し上げた区自治協議会提案事業の実施に向けまして、ご尽力いただいている訳ですが、一方で、その事業の企画実施に、時間とパワーを取られて、区の課題そのものに対する議論をする時間がないというようなお声をいただいているところでございます。</p> <p>これらのことを受けまして、10年目の節目を迎えた今、これまでの区自治協議会の活動を振り返り、申し上げたような課題などの整理をおこなわせていただくとともに、今後の区自治協議会のあり方や方向性を、いま一度検討する機会を設けたいということで、この検討委員会を設置させていただくこととさせていただきました。</p> <p>その次、(2)「主な課題(論点)」でございます。こちらに書いてあります課題(論点)につきましては、これまで区自治協議会の皆さまから議論いただいた内容、また、会長会議の中でいただいた内容を、事務局にて、現段階で取りまとめたものになりますけれども、記載のとおり、自治協の役割や任務、これがどうあるべきか。また、委員の任期や構成に見直す点はないか。区づくり予算、これは、ちょうどいい形になっているか。あと、若年層や女性の方々などの参加の推進など、これらの点を想定しているところでございます。当然、議論を進めていく中で、これ以外の論点も出てくる場合もあろうかと考えております。</p> <p>次に、左下でございます「検討体制(イメージ)」をご覧ください。この図にございまして、今回設置させていただくあり方検討委員会は、重要な役割を担っていただく訳ですが、このあり方検討委員会だけで、すべての方向を決めるということでは決してございません。</p> <p>現役の委員であります、各区の自治協議会の皆さま、また、各区の自治協会長の皆さま。さらには、市議会にも議論の進捗について、ご報告させていただいたうえで、ご意見をいただき、それらの意見も反映しながら、丁寧に検討を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>その最初となりますけれども、来月の7月6日、先ほど、事務局からもご案内がございま</p>
-------------------------------	--

したが、区自治協議会委員研修会が、黒埼で開催されます。こちらの今回のテーマも、区自治協議会の活性化についてということで設定させていただいております。その中で、忌憚のないご意見をいただきますとともに、その委員会の最後にアンケートも実施いたしますので、そちらにもご意見をいただければと思っております。

次、右上にまいりまして、3「委員構成（案）」をご覧ください。今回の検討委員につきましては、11名の委員で検討を進めてまいりたいと考えております。1番から8番までは、これまで10年間の間で、各区の自治協議会の会長を経験していただいた方々から、委員として、各区1人ずつご就任いただきます。

こちらの東区におきましては、第4期の会長を務めていただきました山中様から委員になっていただく予定でございます。その下、9番と10番は、有識者ということで、新潟大学経済学部の大串先生。新潟医療福祉大学の渡邊先生のお二人から、委員として参加していただきたいと考えております。また、これに、現在選考中でございますけれども、公募委員に応募していただいた方の中から1名、ご参加いただきまして、合計11名で、あり方検討委員会を構成させていただこうと考えております。

最後、右下、検討スケジュール（案）をご覧ください。こちら、上段に、検討委員会と書いてございますが、検討委員会は、来月の7月下旬に第1回を開催させていただく予定でございます。その後、10月と、来年の1月、合計3回の開催を予定しております。先ほど申し上げましたとおり、検討委員会の開催に合わせて、自治協や、また市議会にも報告をさせていただいて、意見交換をおこなわせていただきながら、検討を進めてまいりたいと思っております。

こちらには記載がないのですけれども、それぞれの検討委員会の開催の前に、区自治協議会の会長会議を開催させていただこうと考えております。皆さまから、区自治協議会のあり方についてのご意見がございましたら、会長に伝えていただきまして、会長会議を通じて、私どもにご意見をいただくことも可能となっておりますので、よろしく願いいたします。

そして、この表の30年度、31年度でございますが、今年度いただいたご意見、検討結果につきまして、来年度、私どもでもう一度整理し直しまして、その内容によりましては、条例の改正等が必要になってくる場合も想定されますので、その場合は、条例の改正、見直しの手続きを進めまして、平成31年度から第7期の自治協議会が始まるわけですが、その第7期の委員改選に合わせて、あり方検討を踏まえた新たな自治協の制度ということで運営してまいりたいと考えております。

最後になりますけれども、これまで10年間、各自治協議会でさまざまな成果を残してきていただいているところでございます。今日、ここに来る途中に、東警察署の庁舎が出来つつあるのを見てまいりましたが、こちらは東区自治協議会が、要望をまとめて出した結果と伺っております。

今回の自治協議会のあり方の検討につきましては、こういった各区の自治協議会における、これまでの10年間のさまざまな成果を踏まえながら、さらに皆さまから活発にご議論をいただいて、また、負担感なく、有意義な活動をおこなっていただくための環境整備ということで、前向きな議論を進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

4. その他

(後藤会長)

ただいまの報告に対して、ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。

次に、4「その他」です。事務局からご報告願います。

(吉原教育支援センター所長)

皆さまのところに、「平成 29 年度新潟市中学校体育大会の結果」という一覧表をお届けさせていただきました。先週実施されました、新潟市中学校体育大会東ブロック大会の結果について、ご報告させていただきます。

東ブロックは、北区、東区、江南区、秋葉区の 28 の中学校が参加した大会でございます。ここで勝ち上がった学校、また、個人が新潟地区大会に進みます。新潟地区大会では、一番下に示してありますが、東ブロックと西ブロックの代表。さらに、佐渡ブロック、西蒲・燕ブロックの代表と競いまして、県大会を目指してまいります。先週の東ブロック大会では、東区の 8 中学校すべての学校が、複数の種目で地区大会進出を決めております。

なお、一覧表にございます、フリーエントリーとは、東ブロック大会の結果に関わらず、学校が出場を決めた選手が出場できるという制度でございます。

以上で、体育大会の報告を終わらせていただきますが、地区大会につきましては、今日、明日が陸上大会。それから、その他の競技が、7月5日から6日までとなっております。その結果につきましては、後日お伝えさせていただきたいと思っております。よろしくお願いたします。

(事務局)

引き続きまして、全部で4点ご報告させていただきます。

まず1点目、「第 11 回東区区民ふれあい祭」のご案内です。お手元のチラシをご覧ください。

今年度のふれあい祭は、7月17日(月)の海の日、午前9時30分～午後3時30分に東総合スポーツセンターで開催します。当日は、地域コミュニティ協議会の方々をはじめ、多くの方々からボランティアスタッフとしてご協力いただきます。ご都合のつく方は、ぜひご来場くださいますようお願いいたします。

ここで、チラシの掲載内容について訂正がございます。

ふれあい祭のチラシの裏面の左下に、「東総合スポーツセンターへのバスの案内」がございましたが、紫色で記載されております各地区からの無料送迎バスの時刻表に、各コースの出発地と時間が掲載されておりました。チラシに添付してあります「ふれあい祭 各地区送迎バス時間の訂正について」という資料に赤字で記載されているとおりの訂正となります。なお、これについては、本日より区のHPで周知するほか、7月16日の区だよりで訂正記事を掲載いたします。また、すでに配付済みのポスター掲示用として、訂正資料を該当コミ協あてに配付させていただきます。大変申し訳ございませんでした。

次に、「東区工場夜景バスツアー」のチラシをご覧ください。産業観光の魅力発信事業として実施するもので、今年度は、7月29日(土)と8月24日(木)の2回の開催となります。申込み方法などについては、後ほど内容をご覧ください。

次に、水色のチラシをご覧ください。東区まんなか文化プロジェクトとして、「東区市民

	<p>劇団「座・未来」による音楽劇をおこないます。今回の公演のテーマは「牡丹山諏訪神社古墳」です。公演日は8月26日（土）と27日（日）の2日間で3公演を予定しております。会場は東区プラザホールです。</p> <p>チケット料金等は裏面に記載のとおり、7月10日（月）からの販売となります。東区プラザ窓口でも取り扱っておりますので、ご都合のつく方は、ぜひご覧になっていただければと思います。</p> <p>また、テーマが「牡丹山諏訪神社古墳」ということで、同じ特色ある区づくり事業であります「歴史浪漫プロジェクト」とも連携し、演劇公演と併せて「東区歴史浪漫フェスティバル」を開催いたします。昨年度の発掘調査で発見された、鎧片の実物を東区で初めて展示するほか、東区の歴史を探る各種講座や、親子の円筒埴輪作り教室などを開催します。また、南口エントランスホールで出店コーナーやイベントを開催する予定です。こちらの詳細は、次回の自治協議会でご案内させていただきます。</p> <p>最後に、ピンク色のカラーのチラシをご覧ください。保健衛生部及び消防局から配付依頼があったものです。「救急車の適正利用」についてご協力を求めるものです。</p> <p>（後藤会長）</p> <p>今ほど、教育支援センターの吉原所長より説明のありました「区内各中学校の新潟地区体育大会などへの出場に対する激励メッセージ」についてですけれども、提案を受けまして、区長と教育支援センター及び東区自治協議会の連名でメッセージを送りましたので、ご報告いたします。</p> <p>最後に、事務連絡をお願いします。</p> <p>（事務局）</p> <p>それでは、次回の会議のご連絡です。</p> <p>全体会議ですが、7月20日（木）午後2時から東区プラザホールでおこないます。</p> <p>第1部会、7月7日（金）午前10時から、</p> <p>第2部会、7月5日（水）午後2時から、</p> <p>第3部会、7月14日（金）午前10時から、</p> <p>広報紙編集部会、8月2日（水）午後2時から、</p> <p>いずれの部会も、東区役所会議室Aとなります。</p> <p>6. 閉会</p> <p>（後藤会長）</p> <p>以上をもちまして、平成29年度第3回東区自治協議会を閉会いたします。どうもお疲れさまでした。</p>
傍聴者	0名